



あすなる

有田市立保田小学校 校長室便り

令和 7 年 7 月 3 日 発行

第 6 号

(文責 校長)

◆◆◆ 中学年の「壁」をのりこえる! ◆◆◆

一般に3、4年生の時期には「壁」があるといわれます。どんな「壁」かと言いますと、目の前にある具体的なもので物事を考えることから、具体的なものはなくても頭の中で考えられることへとステップアップできるかどうかの「壁」です。具体的なものが前になくても考えられるようになるのが3、4年生の大きな課題の一つです。

4年生は、今ちょうどその「壁」を乗り越えている時期です。理科の学習で、目には見えない「電気の働き」について学習し、具体的なもの…「電池で動く車」を作成して体育館で走らせました。電池の向きが逆だったり、線の繋ぎ方が悪かったりして動かない場面もあり、「なんであかんのかなあ…」って考えていました。



算数では「垂直・平行と四角形」について学んだ後、記念館の床に張られたテープから垂直や平行を探したり、平行四辺形をいくつも繋げて大きな平行四辺形を作ったり…。

具体(目の前にあるもの)と抽象(頭の中だけで考える)を行ったり来たりしながら学習し、「壁」を乗り越えられるよう授業を進めています。

